

北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2018.03.No247

3月号

目次

平成29年度 二級建築士免許 証明書交付式・祝賀会	1
平成29年度 高校生建築デザイン コンクール入選作品発表	2
実行委員会報告 (新たな期を迎えて)	4
Coffee Break	7
information	8

URL <http://www.h-ab.com/>

平成29年度 二級建築士免許証明書交付式・祝賀会 新二級建築士 北海道は167名

合格
おめでとう



祝賀会出席者と大野建築指導課長（前・左3人目）、吉木副会長（前・中央）

平成29年度二級建築士の合格者は全国で5,763名。北海道は939名が挑戦し167名の合格者でした。

1月27日（土）札幌ガーデンパレスにて免許証交付式が開催され、25名の新建築士が札幌、苫小牧、占冠から出席されました。最初に吉木副会長からお祝いのご挨拶と共に、「働きながらの受験に敬意を表します。」とのお言葉がありました。また、建設業界を取り巻く現状と若者の働く場の改善の取組みを紹介され、最後に「建築士の品位と技術の向上心を大切に。」と励ましがりました。続く新建築士セミナーでは、長谷川総括理事が、倫理編、実務編を1.5時間講演され、建築士の業務、契約書、責任、トラブルに学ぶ、北海道の建築について設計の基本から最新の応用など、新建築士たちが真剣なまなざしで聞き入っていた姿が印象的でした。

会場を変えての免許交付式は、大野北海道建設部住宅局建築指導課長から、「北海道は今年命名150年、北海道のこれからの皆さんの力を貸していただきたい、そしてご活躍をお祈りします。」と力強い祝辞を戴きました。

続いて吉木副会長より一人一人に証明書が授与され、会場は慶びいっぱいの顔で満たされました。

交流会は青年・女性委員会の進行により合格までの道のり、仕事への意欲、名刺交換等、和やかムードの中、石川事務局長のさりげない建築士会PRと乾杯で閉会となりました。取材を通して多くの方が更なるステップアップ＝一級建築士を目指している姿に頼もしい未来が重なりました。

（情報委員会副委員長 早川陽子）



吉木副会長ご挨拶



二級建築士の免許証授与



セミナー受講の様子

平成29年度 高校生建築デザインコンクール入選作品発表

課題 「北海道子どもの国公園 水景（噴水）施設の利用者休憩所としての四阿」

車いすの方が利用でき、水景（噴水）施設で遊ぶ子供を保護者の方が見守れるよう設計してください。

「高校生建築デザインコンクール」は、次世代を担う建築系高校生の「建築」に対する関心をより高めることを目的に、北海道が平成8年より実施しており、道内建築系学科の高校生から夢のあるユニークなデザインを募集して、毎年開催されています。現在は、北海道・日本建築家協会北海道支部・北海道建築士事務所協会・北海道建築士会が共催し、今回で22回目の開催となります。今年度は、砂川の「北海道子どもの国公園」に建設を予定している「四阿」を設計課題として募集したところ、7校152名から108作品の応募がありました。

この108作品については、9月7日に選定委員会が開催され、厳正な審査の上、最優秀作品1作品、優秀作品3作品、

佳作4作品、特別賞2作品を選定いたしました。

最優秀作品賞は、地を這うような流線型で美しいフォルムであり、子どもたちが屋根に登って遊べる機能性も備えるなど、とてもバランスのとれた作品であった、「Wood Arch」北海道苫小牧工業高等学校 田村祐太さん・菅原拓さん・澤田元輝さんが受賞されました。なお、最優秀作品賞のデザインについては、現在計画中の設計に反映されるということもあって、自分のアイデアが現実の建物になっていく喜びをきっと感じていただけるものと思われま。

高校生建築デザインコンクール選定委員
針ヶ谷拓己（札幌支部）

最優秀
作品賞

Wood Arch

北海道苫小牧工業高等学校

田村 祐太（3年）

菅原 拓（3年）

澤田 元輝（3年）

設計趣旨

今回のテーマは公園の四阿なので、子供が遊べるような四阿を目指しました。

この四阿は遊具になるような四阿になるように作ったので、子供が屋根に登って遊べる環境をイメージしました。一般的に柱と屋根だけの簡素な造りの多い四阿ですが、遊具と融合させることで小さな子供でも四阿を大いに楽しむことができます。

曲線で構成されているので軽やかでありながらも静かにたたずむため、オブジェのような存在感を生み出しています。

また、敷地に水場や芝生、木をランダムに配置することで、色々な場を生み出し公園全体に遊ぶ場や休憩の場を多数計画しました。

これらの計画により、様々な家族が思い思いの場所で楽しむことができる公園にしました。

審査講評

水景施設と公園利用の条件をよく理解し、ユニバーサルデザインにも配慮された魅力ある提案である。

池を囲むように地面から立ち上がる屋根がアーチを描いて噴水や周囲との一体感があり、オブジェとしての外観やエリア全体の構成が高く評価された。



優秀 作品賞

北海道苫小牧工業高等学校定時制
高杉 后 (2年)
津田 美沙 (2年)

Lotus of Pavilion

□設計趣旨

今回、休憩所としての四阿を設計するにあたって私たちが最初に考えた事は、子供の国公園内に建つということと、噴水の近くにあるので、水辺に関係したものをモチーフにみんなの印象に残るような仕掛けを取り入れた建物を考えようと思いました。

そこで、鑑賞池に浮かぶ蓮を噴水に浮かんでいるような建物がいいのではないかと考えました。そして、それは緩やかに高さのある鑑賞池から眺めるとその光景が見ることが出来、実際の鑑賞池の蓮に溶け込んだ風景となるのではないかと考えました。

そして、この四阿は構造体自体がベンチとなっており、また、3つのテーブルは各々高低差をつける事で四阿での面白さも設計してみました。

□審査講評

噴水との関連付けが美しく、屋根の形状やベンチに変化があり、斬新なデザインが評価された。



優秀 作品賞

北海道函館工業高等学校
横内 美紀 (3年)

蓮の四阿

□設計趣旨

水に浮かぶ蓮をテーマに設計しました。蓮の葉の形をイメージした建物を4つつけて、一つの四阿にしました。屋根や家具なども蓮をイメージしてデザインしました。

屋根を斜めにし、さらに、南側にすだれを設けることで、日影をなるべく多く確保できるようにしました。夏の暑い日でも涼しく快適に過ごせると思います。

北側には、柵などの視界を遮るものをなるべく置かないようにしました。噴水の様子をよく見ることができると思います。

暑い日でも、噴水と共にこの四阿を利用して快適に楽しく過ごしてほしいです。

□審査講評

蓮の葉の屋根の高さを変えて四阿を独立させ、アクセントを持たせた質の高いデザインが評価された。



優秀 作品賞

北海道苫小牧工業高等学校
武藤 烈紀 (3年)
佐藤 柊太 (3年)
千葉 天音 (3年)

自然体 ~ Nature Unison ~

□設計趣旨

この建物は中心に木を植えることによって、自然との一体化をイメージして設計しました。

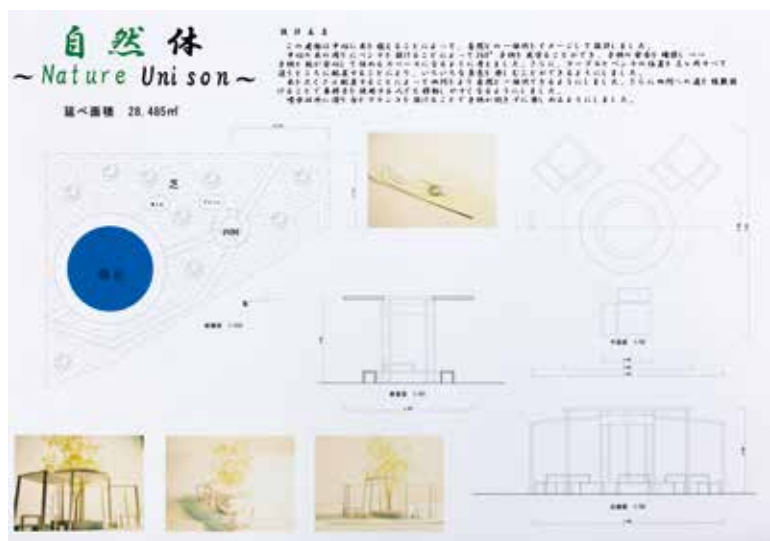
中心の木の周りにベンチを設けることによって360°子供を見守ることができ、子供の安全を確保しつつ子供と親が安心して休めるスペースになるように考えました。さらにテーブルとベンチの位置を三ヶ所すべて違うところに配置することより、いろいろな景色を楽しむことができるようにしました。

木をたくさん配置することによって四阿をより自然と一体化できるようにしました。さらに四阿への道を複数設けることで車椅子を使用する人でも移動しやすくなるようにしました。

噴水以外に滑り台とブランコを設けることで子供が飽きずに楽しめるようにしました。

□審査講評

四阿の中に木を植えるというアイデアや中央の屋根をくり抜いた樹木を中心にやや低い屋根の四阿がからやかで美しいデザインが評価された。



総務委員会

高齢化の波を押しのかけて

委員長 西岡 誠 (札幌支部)



2期目に引き続き、総務委員長を務めさせていただくことになりました。総務委員会は、建築士会全体の運営に目配りをするという役目が主だったものだと思いますが、中長期的な視点も併せ持つ必要があると考えております。

先日、日経アーキテクチャーを読んでおりましたところ、36万人強の一級建築士のうち、建築士事務所所属する建築士が14万人で、その年代比率は50代と60代合わせて55%と半分強を占め、30代、40代合わせての35%を大きく上回っております。木造、二級建築士を含めると少し変わるのかもしれませんが、高齢化の波は他の産業を上回るように思います。自分も還暦になりましたのでまさしくこの層に居ります。働き方改革もあり、ますますこの傾向は顕著となり、当然建築士会会員も同様の年代構成にあると思われまふ。ひょっとしたら60代はまだ高齢者ではなく、中年層なのかもしれません、まだまだバリバリと仕事をこなし、社会で活躍し続けなければならないのかもしれないです。ちょっとしんどいですが。

建築士会の活動もそれを加味していくべきではと考えております。総務委員会として中長期的な視点から考えていきたいと思っておりますので、会員皆様のお力添えとご助言を賜れば幸甚です。

事業委員会

多くの会員の皆様方の受講を・・・

委員長 伊藤 隆英 (恵庭支部)



昨年に引き続き、今期も事業委員長を引き受けることになりましたのでよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年は新たな建築士の業務となる、改正宅建取引業法に対応した「既存住宅状況調査技術者講習」を道内7地区で開催し、約440名の会員が受講されました。次に、基礎ぐい講習の第二弾「杭基礎の正しい設計・施工」を道内6地区で開催し、約100名の受講と「総合図作成ガイドライン解説講習」、「中大規模木造設計セミナー」の4主催事業を開催しました。また、本会に毎年、多額の協賛金を拠出いただいている「東西アスファルト事業協同組合」との協賛事業で座学による説明とデモンストレーションによる実演を交えた内容で、大変好評を得た「防水技術セミナー」を今回、初めて道内4地区で開催しました。

このように出来る限り、多くの会員が受講できる地方開催を行いますので、是非とも会員の皆様のご受講をよろしくお願いいたします。

本年も3月に「防水技術セミナー2018 in札幌」が開催されます。また、4、5月に道内5地区で昨年に引き続き「既存住宅状況調査技術者講習」を開催しますので、その案内チラシ等は、毎月発行している会誌「北海道建築士」に同梱しますので、是非ともご覧いただきまして受講されますことをよろしくお願いいたします。

情報委員会

会誌『北海道建築士』

委員長 斎藤 勝哉 (旭川支部)



情報委員会3期目にして委員長の大役を引き受けることになりました。よろしくお願いいたします。

我々の一番大きな役割は毎月、皆様のお手元に届けられる『会誌』の編集と発行です。各委員会の活動報告や、本部・支部の活動や様子等をお届けすることが重要だと思っております。

年に3回予定している会議では大部分を会誌の掲載記事の割振りに費やしているのですが、毎回、各委員会や関係団体、行政等の報告の割り当てに苦慮します。お知らせしたい活動等ありましたら一報いただけると幸いです。

今回、3名の委員が入れ替わり心機一転しました。委員全員でそれぞれの支部やブロック等との連携を取りながら情報収集に努めたいと思っております。

今期の最大のイベントといえば、来年開催の『全国大会 函館大会』でしょう。いよいよ、開催に向けた実務的な動きが活発になってきます。必然的にこの記事が増えてくるとは思いますが、成功に向けて皆様と一丸になって進められるよう努めて行きたいと考えています。

今後も、情報委員会と会誌『北海道建築士』をよろしくお願いいたします。

まちづくり委員会

新たな組織(ネットワーク)づくり

委員長 針ヶ谷拓己 (札幌支部)



前期に引き続き、まちづくり委員長を務めさせていただきます、札幌支部の針ヶ谷です。どうぞよろしくお願いいたします。

日本建築士会連合会では、まちづくり活動の質の向上を目指し、昨年、5つのカテゴリーに細分化した下記部会が発足しました。

①防災まちづくり部会 ②歴史まちづくり部会 ③景観まちづくり部会 ④街中(空き家)まちづくり部会 ⑤福祉まちづくり部会

こうした中、北海道建築士会としましても、この5つのカテゴリーを意識した活動を進めていくため、今年はその組織づくりが必要となります。かといって連合会と同じような仰々しい組織ではなく、まちづくりの情報が簡単に共有でき、誰かが「こんなことしてみたい」と声をあげればすぐに動き出せるような、気軽で自由な組織(ネットワーク)を…。

現在はこの5つのカテゴリーに関わりの深いまちづくり委員会をはじめ、被災地応急支援委員会、ヘリテージマネージャー特別委員会、女性委員会の委員の方々が核となる組織となりますが、今後は、まちづくりに興味のある一般会員のみならずも参加いただけるよう、何らかの形でご案内させていただきますので、よろしくお願いいたします。

青年委員会

就任挨拶

委員長 朝倉 友和 (函館支部)



日頃より青年委員会の活動に、深い理解とご協力を頂き、厚く御礼申し上げます。これから2年間、青年委員長として微力ながら、建築士会の発展に尽力をいたす所存でございます。

さて、今年1月より青年委員会もメンバーが改選され、1月13日に第1回青年委員会を開催し、新体制で走り出したところでございます。その委員会でもお話しさせて頂きましたが、建築士会のあるべき姿に原点回帰し、もう一度建築士会の魅力を考えます。北海道建築士会のホームページに『建築士会の目的』や『組織のアイデンティティー』が明記されています。皆さんは拝読したことがあるとは思いますが（私は最近初めて見ました笑）、そこに『会員の協力によって建築士の品位の保持・技術の向上およびその業務の進歩改善を図り・・・』とあります。魅力がここです。新技術や情報をいち早く習得できる。その為にも会員同士がなんでも相談できる様、楽しい時間を共有し同志を作る。そこを基本方針とし邁進していく所存です。3月31日の連絡会議に新技術のセミナーを開催予定としています。多くの方々参加をお待ちしています。

結びに本委員会の活動に対して、今後の皆様のご協力、ご尽力を仰ぎ、就任のご挨拶とさせて頂きます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

女性委員会

活動の輪を広げよう

委員長 工藤美智子 (札幌支部)



このたび、二期目の委員長を勤めさせていただき、札幌支部の工藤です。今期は2名の委員（道央・道東ブロック）が新旧交代となりました。

道内の活動は、全道大会分科会と全道女性建築士の集いの企画・運営です。又、機関紙「北海道建築士」“Hokkaido”の原稿も担当しています。支部女性の活動も紹介させて頂けますので、連絡いただければと思います。

連合会活動は、全国女性建築士連絡協議会への参加と、全国大会女性委員会担当セッションへの協力、そして連合会まちづくり部会への協力です。

近年、活動の柱となっている建築士による住教育出張講座は、全道各地の会員の皆さまからご協力をいただき、昨年までの5年間で、のべ51校で開催することが出来ました。ありがとうございました。今後は、地域の特性に合わせた開催方法の検討、学校にあわせた発展型の講座内容なども考えたいと思っています。各ブロック・支部、他委員会の皆様からのご意見も伺い、少人数で対応できるような仕組み作りにも取り組んで見たいと考えています。

これからの活動には、単一委員会だけではなく、複数委員会の横断的な広がりも大切だと思います。この文章をお読みいただいた皆さま、情報交換含めご協力よろしくお願ひいたします。

被災地応急支援委員会

これからの活動について

委員長 小町 美穂 (札幌支部)



平成13年からスタートした委員会も今年で6年目となりました。その間に市町村との協定を結んだ支部も3支部となりました。今年から本委員会で開催している机上訓練が認定講習会となり応急危険度判定士の登録が出来るようになりました。そして1月26日に北空知支部において認定講習会の1回目を開催出来ました。応急危険度判定登録の申請書の申し込みも多くの方に申し込んでいただきました。

これからも応急危険度判定の登録者を増やす活動を進めていこうと考えています。また、多くの支部が地域での震災時の対応について行政との協議に入っただけだと思っております。

主な活動としては①被災地における応急危険度判定ネットワークの構築②応急危険度判定の復旧及び訓練の実施③応急・復旧支援活動に関する支援活動を推進する事としています。地域の安全はその地域に住む皆さまの協力が必要となります。支部の皆さまのご理解とご協力をお願いしたいと思います。

会員増強特別委員会

新たな会員増強のツール

委員 (統括理事) 長谷川敏文 (札幌支部)



昨年合格されて建築士の登録をされた皆さん、歓喜と安堵の新年を迎えられたことでしょう。

札幌支部におきましては、会員増強のツールとして無料登録のWEB会員（建築士会会員・非会員を問わず）制度を新設します。札幌支部の活動内容や建築士としての業務に必要なと思われる情報を、できるだけ素早く伝える目的で、WEB会員に限定した「(仮称) WEB STREET」のネット配信（メルマガ）を企画しています。現在、システムのセキュリティーに関する最終チェックを行っており、2018年春からの実施に向け、札幌支部ホームページ上において「WEB会員」を募集しています。

札幌支部は「タイムリーなものはタイムリーに発信」を運営方針のひとつに掲げています。「建築士」に同梱して送付しているミニコミ誌「STREET」は、平成8年から継続して発行していますが、一ヶ月ごとのペーパーによる情報の伝達であるため、印刷発注後に入手した関連諸官庁からの大事なお知らせや、建築団体・賛助会員様からの講習会・セミナーに関する情報を提供できないことがありました。

発信のスピード化を図ると共に、札幌支部会員のみならず、他支部会員の方、非会員の方との情報交換と、併せて、貴重なご意見も頂戴できるようなシステムを持つステージを目指します。

ヘリテージマネージャー特別委員会

歴史的建造物の利活用

委員長 関川 修司 (北広島支部)



北海道ヘリテージマネジメント育成講座、今年で5年目になります。ヘリテージマネージャーは全国で4千人、道内では100人を超えました。他府県ではヘリテージマネージャーの活動には大きな成果がありますが、道内に遺る歴史的建造物の数に比べ、道内のヘリテージマネージャーの数は少なく、その活躍も少ないのが現状です。人口減少、高齢化、空き家対策、これらの問題の解決の手始めが育成講座です。自分たちのマチを見直し、掛かる費用負担を小さくして、歴史的建造物を登録文化財とし(観光資源として)、マチのため、自分たちのためにも利活用しようというのがこの講座です。各地には多くの歴史的建造物が遺っています、それに比べ、登録文化財指定建築物は少ない。文化財指定申請から、改修計画、修理、保全も建築士であればこそ出来る仕事です。皆さんもこの仕事に携わりませんか。

歴史的建造物の多くが、既存不適格です。利活用には多くの制限が加わります。これは全国的な問題で、国が「技術的助言」をしてくれました。長い説明が必要なので、詳しい説明は省きますが、このことには大きな課題もあります。この課題解決にも今年度から臨まなければなりません。皆様のご協力もいただかなければ出来ない課題です。

育成講座出席ともども、宜しくお願いします。

地域貢献活動センター委員会

地域貢献活動に助成します

委員長 本間 恵美 (小樽支部)



引き続き、平成30、31年も地域貢献活動センター委員長をさせていただくことになりました。どうぞよろしくお願いします。

この委員会は、高野壽世代表、鈴木基伸副代表の下に委員会が構成され、委員には、青年、女性、まちづくりの各委員長が任命されています。

昨年は、蘭歴建見会の「旧絵鞆小活用プロジェクト」と、はこだてこども食堂の「こども食堂 秋まつり(仮)」の2事業に助成をしました。どちらも、地域への貢献が期待される事業です。

応募にはいくつかの条件が必要です。

- ・対象事業は、9つのテーマに沿うもの。
- ・応募の団体には、継続して3年以上の士会会員2名以上の参画が必要。
- ・一件の限度額は20万円まで。(但し、予算の範囲内で審査委員会が決定した額)
- ・1月から9月末まで募集をしています。

詳しくはホームページをご覧ください。過去の助成事業も見ることができます。

地域の方々と活動してみたいけれども、活動する資金が無いという方は、お気軽にご相談ください。ご応募お待ちしております。

(一社)北海道建築士会 平成30・31年実行委員会名簿

委員会 (人数)	総務委員会 (7名)	事業委員会 (7名)	情報委員会 (8名)	まちづくり委員会 (7名)	青年委員会 (10名)
委員長	西岡 誠(札幌)	伊藤 隆英(恵庭)	斎藤 勝哉(旭川)	針ヶ谷拓己(札幌)	朝倉 友和(函館)
副委員長	大原 公子(札幌) 山田 良彦(函館)	内海 純一(札幌) 今井 正道(恵庭)	早川 陽子(小樽) 森 勝利(日高) 前田 繁(釧路)	清水 浩史(札幌) 山田 直登(空知)	小林 祐司(札幌) 近藤 真人(小樽)
委員	菊地 義紀(札幌) 酒井 一誠(石狩) 原 一彦(旭川) 飛澤 隆洋(網走)	丹波 泰哉(千歳) 小松 憲一(室蘭) 菟川 正人(旭川) 飯高 清嘉(十勝)	片岡 哲二(札幌) 熊谷 智(苫小牧) 柏倉 晶憲(士別) 村山 賢司(中標津)	石塚 尚也(恵庭) 杉島 久則(檜山) 北野 学(名寄) 高橋 真美(北見)	末吉 勇介(函館) 瀬尾 正宣(後志) 亀田 誠(日高) 大平 健二(留萌) 石塚 規行(旭川) 石川 俊樹(網走) 佐々木強志(北見)
委員会 (人数)	女性委員会 (10名)	被災地応急支援委員会 (7名)	会員増強特別委員会 (10名)	ヘリテージマネージャー特別委員会 (5名)	地域貢献活動センター委員会 (4名)
委員長	工藤美智子(札幌)	小町 美穂(札幌)	高野 壽世(札幌)	関川 修司(北広島)	本間 恵美(小樽)
副委員長	岩崎 美乃(函館) 藤井 洋子(旭川)	金谷 祐(小樽) 三嶋 克昭(日高)			
委員	後藤 朋恵(札幌) 鈴木 彩恵(札幌) 新海 直美(札幌) 稲場めぐみ(室蘭) 神部 絢子(空知) 須藤志津子(釧路) 立花智亜喜(網走)	西田 康人(札幌) 谷内 正則(函館) 土田 浩貴(上富良野) 伊井 崇史(中標津)	吉木 隆(札幌) 鈴木 基伸(札幌) 長谷川敏文(札幌) 山内 一男(函館) 庵 敏幸(北見) 中澤 光夫(旭川) 西岡 誠(札幌) 朝倉 友和(函館) 工藤美智子(札幌)	杉山 友和(札幌) 川原 昌彦(札幌) 安達あけみ(札幌) 往田 協子(札幌)	針ヶ谷拓己(札幌) 朝倉 友和(函館) 工藤美智子(札幌)

平成30年 一般社団法人北海道建築士会 定時総会について

平成30年 定時総会 代議員により開催します

開催日：平成30年3月20日(火) 会場：ホテル 札幌ガーデンパレス 時間：14：30～17：00

平成30年 定時総会 意見交換会 一般会員のみなさまも意見交換会懇親会への参加ができます

開催日：平成30年3月20日(火) 会場：ホテル 札幌ガーデンパレス 時間：17：00～19：30

会費：5,000円(当日会場で申し受けます) 申込み締切：3月9日(金)まで

※懇親会への参加ご希望の方は、(一社)北海道建築士会本部事務局(011-251-6076)へお問合せください。

岩内支部

岩内町と岩内支部をちょっとPR

支部長

上野 憲之



岩内町は何となく、交通の利便性では中途半端な位置にあります。計画予定の北海道横断自動車道のインターからはちょっとそれっていて、新幹線はJRが元々ありません。(昭和60年に国鉄岩内線が廃止)平成2年に就航したフェリー(新潟県直江津市まで)も平成11年には休止となりました。

そんな岩内町ですが、歴史はとても古く、18世紀中頃の『岩内古宇両場所請負』というのが、岩内の開基になるそうです。その後、ニシン漁で栄えたのは有名ですが、明治38年、北海道で初めて水力発電が出来、大正11年、アスパラガスが北海道で初めて植えられたのも岩内町です。野生のホップが発見されたのも岩内町だと聞いています。(ビールが美味しく飲めるのは岩内町のおかげ?)

昭和29年の台風で大火が起こ

り、死者・負傷者合わせて287名、全町の8割を焼失したそうです。この大火の他、岩内町では過去に2回、合計3回も大火に襲われています。3回も大火に見舞われる町は珍しいのでは?(江戸?)

それ以降、防災意識に目覚めた町は、大火を起こしていません。岩内町の準防火地域はとても広範囲なのですが、それにはこんな理由があったんですね。今現在、この準防火地域の存在は、町民にとっては建築費アップの要因となっており、準防火地域に土地がある為に建築を断念する方もいるようです。(なかなか見直してくれない役所へのちょっとしたアピール)

他の地域と同様、岩内町にも温泉がたくさんあります。その中でも国道229号を寿都方面に向かって15分くらいの所にある雷電温泉は最盛期には9件の宿がありましたが、今はたったの1件だけ営業中です。(混浴あり)国道から見たわたせる建物群はまるで心霊スポットのようです。

岩内町の隠れた観光名所は夜景

です。(写真)あまり有名ではありませんが、癒されます。興味のある方はご案内致します。(ただし温かい季節限定です。)

岩内支部は岩内、共和、寿都の3町と泊、神恵内、島牧の3村からなり、今年で支部創立30周年になります。ただ今、夏の記念行事に向けて準備中です。あまり大きな行事は出来ませんが、普段あまり顔の見られない会員にも出席願ひ、親睦を深めたいと思っております。支部会員も今年は25名にまで減りましたが、会員増強はなかなか難しく、正会員が無理なら賛助会員を増やそう、という事で奮闘しております。

以上、なんとなくPRでした。



岩内町の夜景

遠軽支部

厳冬の滝

支部長

高橋 利己



当遠軽支部は、会員若干31名の少数支部であります。先日には、総会を開催し役員全員が留任となりました。

又、2年間は現行の体制で運営する事となりました。会員の高齢化等いろいろと難問があるのが現実です。

私事ですが、去年は体調不良があり、あまり活動できておりませんでした。今年は、何とか会を盛り上げてゆくよう努力してゆこう

と思っております

さて地域からの話題提供ということで、厳冬【山彦の滝】を紹介致します。場所は、遠軽町丸瀬布の山奥にある滝で高さ28mから落ちる滝でして、冬に凍結する事で知られております。上から凍ってゆくのと同時に下からも凍ってゆき、最終的には一本の柱のようになります。1月から3月の夜間には、滝の裏側よりのライトアップ観察会がおこなわれます。

尚、冬期間は通行止めになりますので、もし見学されたい方は事前に丸瀬布支所0158-47-2211迄連絡をとってからにしてください。

途中には、冬でも蝶々が飛ぶの

が見られる昆虫生態館と温泉もありますので、ゆっくりとくつろげるかと思ひます。



絶景の水滝

実務に役立つ建築法規解説2017 販売のご案内

平成30年1月～2月に開催の第51回建築基準法講習会で使用しましたテキストを販売いたします。

販売予定数に達した時点で終了となりますので、お早めにお求めください。



実務に役立つ 建築法規解説2017

編集＝全道建築行政連絡会議

第51回 建築基準法講習会テキスト

◎A5判 ◎定価：3,500円

※送付希望の方へは書籍を、送料着払で発送しておりますので、FAXにてお申込ください。なお、請求書は別途郵送いたします。
(申込用紙は北海道建築士会のホームページからダウンロードできます。)

【図書問合せ先】(一社)北海道建築士会 011-251-6076

平成30年 (一社)北海道建築士会会員作品の募集

応募対象

- ①対象建物 平成26年以降に竣工し、検査済証の交付を受けた建物で、その用途、規模等は問いません。ただし、確認申請を要しない建物は、検査済証は不要です。
- ②対象者 本会の正会員(応募建物の設計、及び施工管理者等、責任ある立場で建築に携わった者に限ります)
- ③応募作品 1人若しくは1グループで1点とします。

所有者等の了解

予め所有者、管理者等の了解を得てください。

応募締切 平成30年5月18日(金) 必着

応募資料

- ①申込書 所定の申込書を本会HPからダウンロードして記入してください。
- ②提出資料 図面(平面図・断面図・配置図等)及び完成写真(内・外装)等の画像データ3点と上記申込書を、CD-ROMに記録して提出してください。(応募作品は返却しません)

作品掲載

応募作品のすべては、本会ホームページに掲載します。また、その中から4点程度を選考し「北海道建築士No.253」に掲載します。※詳細は、北海道建築士会HPをご覧ください。

編集後記

歓送迎シーズンとなりましたが、道職員の内定辞退者2年連続6割超という報道がありました。転職を伴う職場ということもあり、老朽化著しい道職員住宅の建替等、福利厚生の実を充実させるなどの努力が必要なのかもしれません。一方、市町村は、地域最大の雇用の場であり、一般職員の採用には事欠きませんが、技術者の採用にはたいへん苦慮しています。自治体で働いてみたいという気持ちが少しでもあるあなた、今すぐ、ネットで検索！

情報委員会 森 勝利(日高支部)

CPD認定プログラム(2月認定)

◆平成29年度構造計算適合性判定に係る 建築確認手続き円滑化のための講習会

《日程及び会場》3月20日(火) 13:30～15:30
かでの2・7 820会議室(札幌市)

《単位数》2単位

《問合せ先》北方建築総合研究所構造計算適合判定センター
TEL 011-204-5362

◆平成30年全道青年委員会研修会

《日程及び会場》3月31日(土) 14:40～16:10
かでの2・7 710会議室(札幌市)

《単位数》2単位

《問合せ先》(一社)北海道建築士会
TEL 011-251-6076

道士会の動き

道本部の主な会議報告(2月)

◆第4回全国大会実行委員会

《開催日》2月10日(土)
《議題》1) 2017年全国大会「京都大会」参加結果
2) 2019年全国大会「北海道大会」実施計画

◆被災地応急支援委員会

《開催日》2月17日(土)
《議題》1) 平成30年事業計画・予算
2) 応急危険度判定制度ネットワーク登録 他

◆第1回女性委員会

《開催日》2月24日(土)
《議題》1) 平成30年女性委員会の活動計画
2) 全道大会分科会・女性建築士の集い 他

◆第1回まちづくり委員会

《開催日》2月24日(土)
《議題》1) まちづくりフォーラム
2) 高校生建築デザインコンクール 他

◆第1回総務委員会

《開催日》2月24日(土)
《議題》1) 平成30年総務委員会事業計画及び予算
2) 平成30年第1回理事会議案等について

関係機関等会議参加予定(3月)

6日(火) 建築技術教育普及センター理事会
8日(木) 日本建築士会連合会正副会長会議
9日(金) 日本建築士会連合会理事会
16日(金) CPD専攻建築士制度委員会
23日(金) 北海道建築士事務所協会総会懇親会
すべて高野会長出席

道本部の主な行事予定(3月)

5日(月) 第1回四役会議
12日(月) 第1回理事会
20日(火) 北海道建築士会定時総会・第2回理事会
31日(土) 全道青年委員会連絡会議

3月開催講習会のお知らせ

・建築士定期講習 3月7日(水) 北斗市 3月8日(木) 苫小牧市
3月8日(木) 札幌市 3月22日(木) 札幌市

情報委員会委員長/斎藤 勝哉
副委員長/早川 陽子・森 勝利・前田 繁
委員/熊谷 智・柏倉 晶憲
村山 賢司・片岡 哲二

北海道建築士 No.247号

印刷 平成30年2月/発行 平成30年3月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会
〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地
大五ビル
電話 (011) 251-6076番
URL http://www.h-ab.com/

印刷 株式会社 正文舎
〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目
電話 (011) 811-7151番